

「就活合宿」の成果発表

引きこもりや休職経験者



合宿の成果を発表し、質問に答える参加者(中央奥)＝岐阜市橋本町の県若者サポートステーションで

引きこもりや休職を経験し、求職中の人たちを対象に昨年十二月から行われた「就活合宿」の成果発表会が、岐阜市橋本町の県若者サポートステーションであった。

合宿は厚生労働省の

委託で同ステーションが開き、今回が三回目。岐阜市少年自然の家で一週間、共同生活をしながらビジネスマナーなどを学んだ後、スポーツ用品店での職場体験も行った。

参加した県内の二十

三十代の男性二人が、期間中に感じたことなどを語り、家族やステーションの他の利用者ら十二人が聞いた。

八年間引きこもりだったという男性(三)は「合宿中にたくさん失敗して恥ずかしい思いをした。おかげですぶとくなり、物事に挑戦しやすくなった」と振り返った。

(木下大資)